

令和7年度山形県子育て支援員研修【基本研修】 研修プログラム

	日程及び会場	日時	研修科目及び講師	研修目的
1 日 目 (5 科 目)	① 6/28 (土) ② 8/23 (土) 【会場】 ① ② 東北文教大学 6号館 3階 631教室	8:40～9:05 9:05～9:15	受付 オリエンテーション	
		9:15～10:15 (60分)	・子ども・子育て家庭の現状 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 曾根 章友 准教授	1 子育て家庭と家庭生活を取り巻く社会的状況について理解する。 2 家庭の意義と多様な子育て家庭のニーズと子育て支援等の現状と課題について理解する。 3 子育て家庭への支援について理解する。 4 子どもの貧困や非行などの背景の概要について理解する。
		10:25～11:25 (60分)	・保育の原理 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 曾根 章友 准教授	1 発達・成長過程に応じた保育の基礎について理解する。 2 情緒の安定と生命の保持に係る保育の基礎について理解する。 3 子育て支援事業における安全対策や危機管理の必要性について発達との関連を踏まえて理解する。
		11:35～12:35 (60分)	・子どもの発達 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 福田 真一 教授	1 子どもの発達を捉える観点について理解する。 2 子どもの発達(「発達・成長の保障」、「情緒の安定」、「生命の保持」)の概要について理解する。 3 生涯発達の概要について理解する。 4 子どもの発達に応じた援助の基礎について理解する。 5 「遊び」の意義と「遊び」の質について理解する。
		12:35～13:25	昼食休憩	
		13:25～14:25 (60分)	・子ども家庭福祉 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 曾根 章友 准教授	1 児童家庭福祉施策・制度の概要(子ども・子育て支援新制度の概要と子育て支援員が関わる事業の枠組みと位置付け等)について理解する。 2 児童福祉施設等と専門職の役割について理解する。 3 児童家庭福祉に関する地域資源の概要(地域人材の確保を含む)について理解する。
		14:35～15:35 (60分)	・対人援助の価値と倫理 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 曾根 章友 准教授	1 対人援助の価値について理解する。 2 子どもの最善の利益について理解する。 3 対人援助の倫理について理解する。 4 保護者・関係者・関係機関との連携・協力の必要性について理解する。 5 子育て支援員の役割について理解する。
2 日 目 (3 科 目)	① 6/29 (日) ② 8/24 (日) 【会場】 ① ② 東北文教大学 6号館 3階 631教室	8:40～9:05 9:05～9:10	受付 オリエンテーション	
		9:10～10:10 (60分)	・児童虐待と社会的養護 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 曾根 章友 准教授	1 児童虐待(家庭における配偶者等からの暴力(DV)を含む)とその影響(虐待を受けた子どもに見られる行動など)について理解する。 2 虐待を受けたと思われる子どもを発見した際の基本的な対応の概要について理解する。 3 子どもの権利擁護の基本的視点について理解する。 4 社会的養護の意義と現状の概要について理解する。 5 社会的養護を必要とする子どもや家庭の状況について理解する。
		10:20～11:20 (60分)	・子どもの障害 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 曾根 章友 准教授	1 障害特性の概要について理解する。 2 障害児支援制度の概要について理解する。 3 障害特性に応じた関わり方や専門機関との連携の概要について理解する。 4 障害児支援等の現状について理解する。
		11:30～12:30 (60分)	・総合演習 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 曾根 章友 准教授	1 履修した内容についての振り返りを図るためのグループ討議 2 子育て支援員に求められる資質についての理解の確認 3 履修した内容の総括と今後の課題認識の確認

令和7年度山形県子育て支援員研修
【専門研修(地域保育コース[共通科目])】 研修プログラム

	日程及び会場	日時	研修科目及び講師	研修目的
1 日 目 (6 科 目)	① 7/12 (土) ② 9/ 2 (火) ③ 9/13 (土) ※1 【会場】 ① ② ③ 協同の杜 J A 研修所 1階 講堂	8:40～9:05 9:05～9:10	受付 オリエンテーション	
		9:10～10:10 (60分)	・乳幼児の生活と遊び 元東北文教大学 人間科学部 子ども教育学科 特任講師 菊地 敬子 氏	1 発達・成長過程に応じた子どもの生活への援助方法について理解する。 2 発達にふさわしい子どもの遊びとその環境のあり方について理解する。 3 子ども同士の関わりあいが、発達を促すことについて理解する。 4 子どもの一日の生活の流れの中での保育者の役割について理解する。
		10:20～11:50 (90分)	・乳幼児の発達と心理 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 福田 真一 教授	1 0歳から3歳くらいまでの乳幼児期の発達のポイントを学び、発達に応じた遊びやその安全性について理解する。 2 子どもの発達を支える保育者の役割について理解する。
		11:50～12:40	昼食休憩	
		12:40～14:10 (90分)	・特別に配慮を要する子どもへの対応(0～2歳児) 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 曾根 章友 准教授	1 0～2歳の気になる行動をどのように考え、どう関わっていけばよいかを行動特徴の把握などを通して理解する。 2 特別に配慮を要する子どもへの対応における保育者の役割について理解する。 ※発達の遅れが疑われる場合、保護者の思いを踏まえた上での対応の必要性について理解する。(専門機関との連携を含む。) 3 遊びを通して、子どもの発達を促す方法について理解する。
		14:20～15:20 (60分)	・乳幼児の食事と栄養 マミーズルーム (出張専門開業助産師) 荒井 眞智子 氏	1 離乳の進め方に関する最近の動向について理解する。 2 幼児期の昼食作りに役立つ栄養バランスのポイント、食品衛生の基礎知識について理解する。 3 食物アレルギーについて理解する。 4 保育者がおさえる食育のポイントについて理解する。
		15:30～16:30 (60分)	・小児保健Ⅰ マミーズルーム (出張専門開業助産師) 荒井 眞智子 氏	1 保育を行う上で必要となる健康管理のポイントや疾病の予防と感染防止への対応、保育中の発症への対応などの基礎知識について理解する。 2 現場に生かせる、より具体的な対応について理解する。
		16:40～17:40 (60分)	・小児保健Ⅱ マミーズルーム (出張専門開業助産師) 荒井 眞智子 氏	1 子どもに多い症状・病気を学び、その対応について理解する。 2 小児に多い事故を学び、その予防と対応について理解する。 3 異物除去法、心肺蘇生法を学び、緊急時の対応について理解する。

※1 地域保育コース③は、プログラム内容に一部変更があります。詳細は受講決定通知発送時に変更したプログラムを同封いたします。

	日程及び会場	日時	研修科目及び講師	研修目的
2 日 目 （ 5 科 目 ）	① 7/13（日） ② 9/3（水） ③ 9/14（日）※1 【会場】 ① ② ③ 協同の杜 J A 研修所 1 階 講堂	8:40～9:05 9:05～9:10	受付 オリエンテーション	
		9:10～11:10 (120 分)	・心肺蘇生法 日本赤十字社山形県支部	1 乳幼児を対象とした救急救命が行えるように、その技術を身につける。
		11:20～12:20 (60 分)	・地域保育の環境整備 マミーズルーム (出張専門開業助産師) 荒井 眞智子 氏	1 保育環境の整備に当たり、基本的な考え方と配慮事項について理解する。 2 保育を行うために作られた場所ではないところを保育の場として利用する上での工夫や配慮について理解する。 3 保育に必要な設備・備品とその配置について、具体的事例およびチェックポイントを示し、自己点検を行えるようにする。
		12:20～13:10	昼食休憩	
		13:10～14:10 (60 分)	・安全の確保とリスクマネジメント マミーズルーム (出張専門開業助産師) 荒井 眞智子 氏	1 保育環境上起こりうる危険について学び、事故を未然に防ぐための予防策や安全確保の留意点について理解する。 2 万一事故が起こった場合の対応や報告について理解する。
		14:20～15:50 (90 分)	・保育者の職業倫理と配慮事項 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 曾根 章友 准教授	1 保育者としての職業倫理について理解する。 2 保育者の自己管理について理解する。 3 地域住民との関係づくりについて理解する。(家庭的保育における家庭的保育者の家族との関係にも留意する。) 4 保育所や様々な保育関係者との関係づくり、行政との関係などについて理解する。 5 児童虐待が疑われた場合の保育者としての対応について理解する。
		16:00～17:30 (90 分)	・グループ討議 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 曾根 章友 准教授	1 研修参加者が討議のテーマにそって話し合うための方法やマナーについて理解する。 2 テーマについて、自分の意見を述べたり、他の参加者の意見を聞く相互作用を通して、考えをまとめ、問題点を整理し、解決方法を検討する。 3 今後学びたい内容あるいは助言者に質問したいことなどを、グループ内で話し合う。 4 研修で学んだこと等についてグループ討議を行い、理解を深める。

※1 地域保育コース③は、プログラム内容に一部変更があります。詳細は受講決定通知発送時に変更したプログラムを同封いたします。

令和7年度山形県子育て支援員研修
【専門研修(地域保育コース[地域型保育事業])】 研修プログラム

	日程及び会場	日時	研修科目及び講師	研修目的
1 日 目 (4 科 目)	① 8/ 2 (土) ② 9/ 9 (火) ③ 9/20 (土) 【会場】 ① ② 協同の杜 JA 研修所 1階 講堂 ③ 山形 ビッグウイング 4階 中会議室	8:40～9:05 9:05～9:10	受付 オリエンテーション	
		9:10～10:10 (60 分)	・地域型保育の概要 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 曾根 章友 准教授	1 地域型保育の各事業の概要や位置づけについて理解する。 2 地域型保育の特徴を学び、保育所保育との共通点、相違点について理解する。 3 規模の小さい地域型保育の意義及びリスクについて学び、リスクを回避するための課題について理解する。
		10:20～11:20 (60 分)	・地域型保育の保育内容① 上山あいこども園 園長 小山田 容子 氏	1 地域型保育における基本的な1日の流れや保育内容について理解する。 2 少人数の異年齢児を保育する際の方法、工夫、留意事項などについて理解する。
		11:30～12:30 (60 分)	・地域型保育の保育内容② 上山あいこども園 園長 小山田 容子 氏	3 新しく子どもを受け入れる際の留意点について理解する。 4 計画や記録の必要性を学び、子どもの育ちの見通しをもって保育することの重要性について理解する。
		12:30～13:20	昼食休憩	
		13:20～14:20 (60 分)	・地域型保育の運営 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 曾根 章友 准教授	1 設備及び運営の基準の内容について理解する。 2 情報提供の方法、受託前の利用者との面接、記録や報告の管理などについて理解する。
		14:30～16:00 (90 分)	・地域型保育における保護者への対応 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 曾根 章友 准教授	1 保護者と協力して子どもの発達を支えるとともに、保護者の子育てを支援する役割についての意義を学び、このために必要な知識と技術について理解する。 2 地域型保育における保護者への対応において、保護者との信頼関係づくりや保護者への支援が必要な際の関わり方について、重要なポイントを学び、事例検討などを通して考え、理解する。
		16:10～16:40 (30 分)	見学実習オリエンテーション ※見学実習該当者のみ受講	1 見学実習を行うに当たって必要な配慮事項や見学のポイントについて理解する。 2 見学実習でどのようなことを学びたいか、あらかじめ考える機会とする。

令和7年度山形県子育て支援員研修
【専門研修(地域保育コース[地域型保育事業])】研修プログラム
※(保育施設に勤務し、見学実習をしない方のみ受講)

	日程及び会場	日時	研修科目及び講師	研修目的
2 日 目 (4 科 目)	① 8/ 3 (日) ② 9/10 (水) ③ 9/21 (日) 【会場】 ① ② 協同の杜 J A 研修所 1階 講堂 ③ 山形 ビッグウイング 4階 中会議室	8:40～9:05 9:05～9:10	受付 オリエンテーション	
		9:10～10:40 (90 分)	・地域型保育の実際 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 曾根 章友 准教授	1 地域型保育の教材 DVD の視聴を通して、保育の1日の流れや、環境の構成、保育者の関わりや留意点、安全への配慮等について学ぶ。 2 地域型保育の課題や今後の展望について理解する。
		10:50～12:20 (90 分)	・子どもの生活援助の理論 羽陽学園短期大学 木村 重子 講師	1 子どもの成長・発達を育む園生活のあり方について学ぶ。 2 3歳未満児の日々の生活日課を構成する遊びや睡眠、食事、排せつなど、子どもの生活援助における理論について理解する。
		12:20～13:10	昼食休憩	
		13:10～14:40 (90 分)	・子どもの生活援助の実際 羽陽学園短期大学 木村 重子 講師	1 3歳未満児を対象とする乳児保育の理論を踏まえ、遊びや睡眠、食事、排せつなど、子どもの生活援助における実際を、実務経験のある講師より実技指導を含め学ぶ。 2 ミルクやほ乳瓶などの実物を知る。
		14:50～16:20 (90 分)	・保育の記録と計画 羽陽学園短期大学 木村 重子 講師	1 子どもの日常を記録し、計画を立てることの意味を理解する。 2 実際の記録の視点について学ぶ。 3 保育の指針や理念、子どもの発達に応じた計画の立案について実例をもとに学ぶ。 4 受付等の書類や環境構成、保護者対応の実際等について学ぶ。

令和7年度山形県子育て支援員研修
【専門研修(地域保育コース[ファミリー・サポート・センター事業])】 研修プログラム

	日程及び会場	日時	研修科目及び講師	研修目的
1 日 (4 科 目)	7/24 (木) 【会場】 子育てランド あ〜べ 研修室	8:55～9:05 9:05～9:10	受付 オリエンテーション	
		9:10～10:10 (60分)	・ファミリー・サポート・センターの概要 山形市ファミリー・サポート・センター アドバイザー 山川 哲子 氏	1 地域における相互援助活動としてのファミリー・サポート・センターの活動の内容及意義について理解する。
		10:20～12:20 (120分)	・ファミリー・サポート・センターの援助内容 山形市児童遊戯施設 べにっこひろば 子育て支援責任者 黒田 真由美 氏	1 保育者(提供会員)として子どもや保護者(依頼会員)に対する心構え、配慮しなければならない点について理解する。 2 援助活動の流れについて理解する。 3 年齢や発達に応じた保育内容・生活援助をする際の方法や工夫、留意事項などについて理解する。
		12:20～13:10	昼食休憩	
		13:10～14:40 (90分)	・ファミリー・サポート・センターにおける保護者(依頼会員)への対応 認定特定非営利活動法人 やまがた育児サークルランド 代表 野口 比呂美 氏	1 保護者(依頼会員)と保育者(提供会員)が協力して子どもの発達を支えるとともに、保護者(依頼会員)の子育てを支援する役割の意義について理解する。また、このために必要な知識と技術について理解する。 2 保護者(依頼会員)との対応において、保護者(依頼会員)との信頼関係づくりや保護者(依頼会員)への支援が必要な際の関わり方について、重要なポイントを学び、事例検討などを通して考え、理解する。
		14:50～16:50 (120分)	・援助活動の実際 山形市ファミリー・サポート・センター アドバイザー 山川 哲子氏 山形市児童遊戯施設 べにっこひろば 子育て支援責任者 黒田 真由美 氏	1 先輩保育者(提供会員)から直接話を聞き、講義で学んだ環境整備、援助内容、安全確保などについて理解する。 2 援助活動に取り組むに際して、具体的に参考になることについて理解する機会とする。

令和7年度山形県子育て支援員研修
【専門研修(放課後児童コース)】 研修プログラム

	日程及び会場	日時	研修科目及び講師	研修目的
1 日 目 (4 科 目)	7/5 (土) 【会場】 山形県産業創造 支援センター 1階 多目的ホール	9:10～9:20 9:20～9:25	受付 オリエンテーション	
		9:25～10:55 (90分)	・放課後児童健全育成事業 の目的及び制度内容 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 曾根 章友 准教授	1 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ) の目的を理解する。 2 放課後児童健全育成事業の一般原則とその役 割を理解する。 3 放課後児童健全育成事業に関する法律、政省 令及び通知等の内容を理解する。
		11:05～12:35 (90分)	・放課後児童クラブにおける 権利擁護とその機能・役割 等 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 曾根 章友 准教授	1 放課後児童クラブにおける子どもの権利につい ての基礎を理解する。 2 放課後児童クラブにおける社会的責任の基本を 理解する。 3 放課後児童クラブにおける保護者との関わり方 や学校、保育所・幼稚園等及び地域との連携の 必要性を理解する。
		12:35～13:25	昼食休憩	
		13:25～14:55 (90分)	・子どもの生活面における 対応等 山形県学童保育連絡協議会	1 子どもの健康管理及び情緒の安定を確保するこ との必要性を理解する。 2 子どもの健康維持のための衛生管理について 理解する。 3 食物アレルギー等への対応に関する必要な知 識を理解する。 4 安全対策及び緊急時対応の必要性を理解す る。
		15:05～16:35 (90分)	・放課後児童クラブに従事す る者の仕事内容と職場倫理 山形県学童保育連絡協議会	1 放課後児童クラブの仕事内容を理解する。 2 放課後児童クラブにおける職員集団と職場倫理 を理解する。 3 人権の尊重と法令の遵守の必要性を理解す る。
2 日 目 (2 科 目)	7/6 (日) 【会場】 山形県産業創造 支援センター 1階 多目的ホール	9:10～9:20 9:20～9:25	受付 オリエンテーション	
		9:25～10:55 (90分)	・子どもの発達理解と児童期 (6歳～12歳)の生活と発達 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 福田 真一 教授	1 子どもの育成支援のために子どもの発達の基礎 を理解する。 2 発達からみた児童期の一般的な特徴を理解す る。 3 児童期の生活と遊びを理解するために必要な発 達の基礎を理解する。
		11:05～12:35 (90分)	・子どもの生活と遊びの理解 と支援 東北文教大学人間科学部 子ども教育学科 福田 真一 教授	1 放課後児童クラブに通う子どもについて理解す る。 2 子どもの生活における遊びの大切さを理解す る。 3 子どもの自主性、創造性を大切にする遊びへの 関わり方を理解する。

令和7年度山形県子育て支援員研修
【専門研修(地域子育て支援コース)】 研修プログラム

	日程及び会場	日時	研修科目及び講師	研修目的
6 科 目	10/10（金） 【会場】 三川町公民館 第一研修室	9:00～9:10 9:10～9:20	受付 オリエンテーション	
		9:20～10:20 (60分)	・地域子育て支援拠点事業の全体像の理解 認定特定非営利活動法人 やまがた育児サークルランド 代表 野口 比呂美 氏	1 関連制度、地域子育て支援拠点事業の経緯を理解する。 2 基本4事業の内容、予防型支援の必要性について理解する。 3 支援者の役割について理解する。
		10:30～11:30 (60分)	・地域子育て支援拠点の活動 認定特定非営利活動法人 やまがた育児サークルランド 代表 野口 比呂美 氏	1 発達の基本、子どもの遊び、他者とのかかわりについて理解する。 2 具体的な環境づくりについて理解する。 3 利用者のニーズに配慮した講習等(プログラム)の実際について理解する。
		11:40～12:40 (60分)	・講習会の企画づくり 認定特定非営利活動法人 やまがた育児サークルランド 代表 野口 比呂美 氏	1 利用者に共通するニーズから、講習等(プログラム)を企画・実施する意味と方法を理解し、実際の現場での支援の在り方を検討する。
		12:40～13:30	昼食休憩	
		13:30～14:30 (60分)	・地域資源の連携づくりと促進 社会福祉士 佐藤 美恵 氏	1 情報提供や支援体制の構築のために、地域資源や連携づくりの重要性について理解する。
		14:40～15:40 (60分)	・利用者の理解 子どもソーシャルワーカー 吉住 和子 氏	1 利用者の立場になって、支援のあり方について検討・理解する。
		15:50～16:50 (60分)	・事例検討 子どもソーシャルワーカー 吉住 和子 氏	1 実際の事例を基に、具体的な対応方法について理解する。

令和7年度山形県子育て支援員研修
【専門研修(地域子育て支援コース)】 研修プログラム

	日程及び会場	日時	研修科目及び講師	研修目的
6 科 目	10/31（金） 【会場】 山形市児童遊戯 施設べにっこひ ろば 多目的ルーム	9:00～9:10 9:10～9:20	受付 オリエンテーション	
		9:20～10:20 (60分)	・地域子育て支援拠点事業の 全体像の理解 認定特定非営利活動法人 やまがた育児サークルランド 代表 野口 比呂美 氏	1 関連制度、地域子育て支援拠点事業の経緯を 理解する。 2 基本4事業の内容、予防型支援の必要性につい て理解する。 3 支援者の役割について理解する。
		10:30～11:30 (60分)	・地域子育て支援拠点の活動 認定特定非営利活動法人 やまがた育児サークルランド 代表 野口 比呂美 氏	1 発達の基本、子どもの遊び、他者とのかかわり について理解する。 2 具体的な環境づくりについて理解する。 3 利用者のニーズに配慮した講習等(プログラ ムの実際について理解する。
		11:40～12:40 (60分)	・講習会の企画づくり 認定特定非営利活動法人 やまがた育児サークルランド 代表 野口 比呂美 氏	1 利用者に共通するニーズから、講習等(プログラ ム)を企画・実施する意味と方法を理解し、実際 の現場での支援の在り方を検討する。
		12:40～13:30	昼食休憩	
		13:30～14:30 (60分)	・地域資源の連携づくりと促進 NPO 法人松戸子育てさぽーと ハーモニー 理事長 石田 尚美 氏	1 情報提供や支援体制の構築のために、地域資 源や連携づくりの重要性について理解する。
		14:40～15:40 (60分)	・利用者の理解 NPO 法人松戸子育てさぽーと ハーモニー 理事長 石田 尚美 氏	1 利用者の立場になって、支援のあり方について 検討・理解する。
		15:50～16:50 (60分)	・事例検討 NPO 法人松戸子育てさぽーと ハーモニー 理事長 石田 尚美 氏	1 実際の事例を基に、具体的な対応方法について 理解する。